

日本美容外科学会(JSAPS)

第 131 回学術集会プログラム

日時：平成 30 年 1 月 13 日（土） 9:10～17:40

会場：パレスサイドビル マイナビルーム 9 階
東京都千代田区一ツ橋 1-1-1（東西線 竹橋駅下車 徒歩 1 分）

参加費：10,000 円（会員、非会員とも）。ただし、初期研修医（卒後 2 年まで）は無料、後期研修医（卒後 6 年まで）は 5,000 円。

※各休憩時間には、ホットコーヒーと冷緑茶のサービスがあります。（ホワイエ、ルーム B、ルーム C の 3 か所）

※昼食のお弁当とお茶の数には限り（200 個）がございます。

※会場内での写真、ビデオ撮影は禁止いたします。

※会場にクロークはありませんので、ご了承ください。

※ホワイエとルーム B でも、モニター（音声付）を通して見る事が可能です。

※一部に英語のプログラムを含みますが、同時通訳はありませんので、ご了承ください。

演者の方へ

- ・発表には、ご自身のパソコンを直接つないで、ご使用ください。接続は D-sub15 ピンですので、必要であればアダプターをご持参ください。
- ・試写スペースは設けてありませんので、動作確認は自己責任でお願い致します。休憩時間での試写ご確認をお願い致します。
- ・発表時間を厳守してください。

第 131 回学術集会会長：吉村浩太郎（自治医科大学 形成外科）

学術集会事務局：佐藤府子

Tel: 0285-58-8940（直通） E-mail: prs-conference@jichi.ac.jp

学術プログラム (9:10~17:40)

ルーム A (メイン会場)

9:10 開会

9:15~9:30

調査委員会報告 座長 須永 中 (自治医科大学形成外科)

「これからはじまる全国美容医療実態調査」

演者 吉村浩太郎 (自治医科大学形成外科)

9:30~10:30

モーニングレクチャー 座長 去川 俊二 (自治医科大学形成外科)

1. 私のフェイスリフト 40 年の変遷

演者 白壁 征夫 (サフォクリニック)

2. 鼻形成術と外科矯正のコンビネーションによる側貌の改善

演者 菅原 康志 (リラ・クラニオフィシャル・クリニック)

10:30~10:50 休憩 20 分

10:50~11:20

スポンサードセミナー 座長 宮田 成章 (みやた形成外科・皮ふクリニック)

協賛 キュテラ株式会社

3 波長ピコ秒発振レーザーの使用経験

演者 加藤晴之輔 (ルーチェ東京美容クリニック)

11:20~11:40

一般演題 座長 河野 太郎 (東海大学形成外科)

1. 隆鼻シリコン除去後に真皮脂肪に入れかえた症例

演者 當山 護 (当山美容形成外科)

2. 乳癌術後の乳頭乳輪欠損に対する 3D パラメディカル・タトゥー

演者 野村 紘史 (中頭病院 形成外科)

11:40~11:50 (昼食準備 10 分)

11:50~12:40

ランチョンセミナー 座長 小室 裕造 (帝京大学形成外科)

協賛 株式会社ウェルハート、メトラス株式会社

1. 内径が広く外径が細い注射針やカニューレを使用した顔面等への注入治療の効果

演者 征矢野進一 (神田美容外科)

2. 簡単にできる！吸収糸による低侵襲鼻尖形成術「クレオパトラノーズ®」の実際

演者 清水 祐紀 (プレシヤクリニック自由が丘)

12:40~13:00 休憩 20 分

13:00~14:00

招待講演 1 (英語) 座長 吉村浩太郎(自治医科大学形成外科)

Lamellar High SMAS Facelift with Simultaneous Fat Grafting

- Combined Lifting and Filling in Rejuvenation of the Face

演者 Timothy Marten (USA) (講演 45 分、質疑 15 分)

14:00~15:10

関連パネル 1 フェイスリフトとスレッドリフト (一部英語)

座長 野平久仁彦(蘇春堂形成外科)、宇田宏一(自治医科大学形成外科)

1. Advanced Total Facelift using the MIR-LIFT Method & Ligament to Ligament Suturing Procedure

演者 宇津木龍一 (クリニック宇津木流)

2. Long-term Effects of the Insoluble Thread-lifting Technique

演者 深谷 元継 (鶴舞公園クリニック)

3. Anatomy and Treatment of Deep Layer Neck Problems

演者 Timothy Marten (USA)

4. 総合討論 (25 分) Timothy Marten、宇津木龍一、深谷 元継

15:10~15:20 記念撮影

15:20~15:40 休憩 20 分

15:40~16:10

スポンサードセミナー 座長 青木 律(グリーンウッドスキンクリニック立川)
協賛 アラガン・ジャパン株式会社

Facial Beauty に必要な 5 本柱 -美を最大限に引き出すための秘訣とは-

演者 今泉 明子 (東京ミッドタウン皮膚科形成外科 ノアージュ)

16:10~16:55

招待講演 2 (英語) 座長 高柳 進(メガクリニック)

Nasal tip refinement -Effective procedures for Asian Nose

演者 Jae-Yong Jeong (Korea) (講演 35 分、質疑 10 分)

16:55~17:40

関連パネル 2 アジア人の鼻形成 (一部英語)

座長 小室裕造(帝京大学形成外科)、宇田宏一(自治医科大学形成外科)

1. A Key to Success in Asian Rhinoplasty

演者 廣比 利次 (リッツ美容外科)

2. 総合討論 (25 分) Jae-Yong Jeong、菅原 康志、廣比 利次

17:40 閉会

企業展示

ホワイト 企業展示 I (10:00~17:00)、ドリンクサービス(10:00~16:00)
インテグラ、カキヌマメディカル、メトラス (五十音順)

ルーム B 企業展示 II (10:00~17:00)、ドリンクサービス(10:00~16:00)

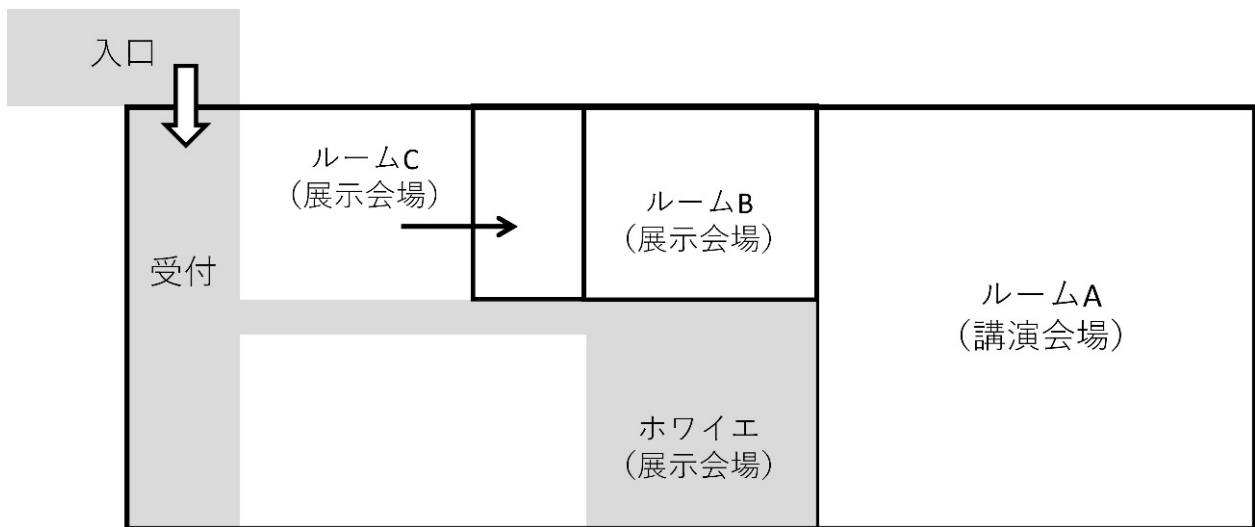
アラガン・ジャパン、ウェルハート、カイゲンファーマ、キュテラ、シネロン・
キャンデラ、ジェイメック、メディカランド (五十音順)

ルーム C 企業展示 III (10:00~17:00)、ドリンクサービス(10:00~16:00)

オール、バイオマスター、メディカル U&A、TMSC (五十音順)

プログラム広告協賛 PRSS、ケイセイ医科工業

【会場フロア図】



スポンサードセミナー抄録

1) 3波長ピコ秒発振レーザーの使用経験 加藤晴之輔 (ルーチェ東京美容クリニック)

【はじめに】良性色素性病変・タトゥー除去の治療は Q スイッチ付レーザーが主流であった。そのパルス幅はナノ秒である。当院ではピコ秒パルス幅レーザーenLIGHTen3 (Cutera Inc., Brisbane, CA)を導入し使用している。enLIGHTen3の大きな特徴は、3つの波長 532nm,670nm,1064nm,3つのパルス幅 660ps,750ps,2nsを組み合わせて施術が可能であり、特にパルス幅 670nm はこれまでのレーザーになかった波長である。【方法】2015年4月よりenLIGHTen3(Cutera Inc., Brisbane, CA)、2017年6月よりenLIGHTen3(Cutera Inc., Brisbane, CA)により、良性色素性病変とタトゥー除去を行った。疾患別の施術過程や有用性を、病理組織等を交えて報告する。

【結果】タトゥー除去では、赤・オレンジ・黄・ピンク・茶には波長 532nm、青・緑・紫には波長 670nm、黒には波長 1064nm を使用して良好なタトゥー除去が可能であった。また、パルス幅 660ps・750ps・2ns を使い分けた。電子顕微鏡像では、波長 1064nm において、パルス幅 2ns での照射は空洞化周囲に密なインクの集塊が認められるのに対し、パルス幅 750 ps では小空洞とその周囲に分散した粗なインク粒子の集塊が確認された。良性色素性病変では、従来の Q スイッチ付レーザーが適応となる疾患はすべて治療対象とする事ができた。【考察】ピコ秒パルス幅レーザーenLIGHTen3は、従来の Q スイッチ付レーザー適応となる疾患・治療はそのまま治療対象になると考えられた。タトゥー除去に関しては従来の Q スイッチ付レーザー以上の効果が認められた。今後もより効率的なプロトコルを検討する必要がある。

2) 内径が広く外径が細い注射針やカニューレを使用した顔面等への注入治療の効果 征矢野進一 (神田美容外科)

1984年から注入治療を始めているが、当初はコラーゲン注入剤として Zyderm、アテロコラーゲンインプラントの2種類を治療に応用した。使用していた針は添付の B&D 社の 30G 針の BD Precision Glide TM Needle であった。26年間その針を使用していたが、2010年から、現在は日本国内で認証されている JBP ナノニードル 34G を使い始めた。従来の 30G 以上の針では、肉厚の構造で内径が細かったため治療に用いることができない注入剤も多くあったが、JBP ナノニードル 34G は壁の厚さが 0.05mm と薄くなり、内径が 0.1mm と太くなったので、コラーゲン製剤や多くのヒアルロン酸製剤の注入に用いることができる。従来の針を使用した場合と JBP ナノニードル 34G を使用した場合の比較症例を提示して、報告する。結果としては、外径が細い方が直後の針痕が少なく、注入直後の快適さが喜ばれている。刺入時の痛みも少なく扱いになれば重宝する針である。カニューレも同様の技術を用いて、内径が大きいものを使った方が扱える注入剤の種類が増える。

3) 簡単にできる!吸収系による低侵襲鼻尖形成術「クレオパトラノーズ®」の実践 清水祐紀(プレシャスクリニック自由が丘)

鼻尖形成術は、東洋人の鼻尖的皮膚が固く持ち上がりにくい性質から、治療の難しいことでも知られ、再手術が比較的多い治療である。低侵襲鼻尖形成術「クレオパトラノーズ®」は、MISKO を用いた形成術である。MISKO とは Minimally Invasive Surgery ko (ko は韓国語で鼻の意味)の頭文字をとって作られた名称で、鼻形成用に考案された特殊な形状の PDS 縫合糸(特許取得)によって、鼻尖形成などの鼻形成が行える新しい概念の治療方法である。本法は鼻尖的皮膚をピンポイントで持ち上げるのではなく、鼻柱・鼻背等の皮膚をところどころ糸で引っかけることで鼻尖を持ち上げている。これにより、鼻尖的皮膚の負担、荷重が少なく、最も安全な方法のひとつと考えられ、実際、主な副作用は MISKO の皮膚からの突出であり、これは術者の技術に依存する。この簡単にできる低侵襲鼻尖形成術の臨床的考察を紹介する。

4) Facial BEAUTY に必要な5本柱 “5 PILLARS OF FACIAL AESTHETICS” - 美を最大限に引き出す秘訣とは-

今泉 明子*1、古山 登隆*2 *1東京ミッドタウン皮膚科形成外科クリニック、*2自由が丘クリニック

近年、エイジングに対する治療は関心が高く、その中でも注目されている治療のひとつにシワ治療が挙げられる。老化の度合いは個人差があるとはいえ、原則として美の基準は一定であり、ここでは“Facial Beauty に必要な 5 本柱” ; 5 pillars of Facial Aesthetics ”をコンセプトとして注入テクニックを紹介したい。まず、Facial Beauty に必要な5つの柱(Skin quality(肌質・肌状態)、Facial Shape(輪郭)、Symmetry(左右対称性)、Proportion(ハーモニーとバランス)、Shadows and Light reflection(光の反射と影))について触れる。アジア人において美しい顔とは oval shaped face(卵型)と言われているが、輪郭のみならず顔全体を oval shaped に近づけることで美しく見せる実際の注入方法も併せて紹介する。当クリニックでもボツリヌス治療とファイバー治療をコンビネーションで行っている患者の満足度、リピート率は単体治療を行った場合よりはるかに高い。最後に、これらを踏まえたうえで美容外科施術の有無に関わらず、高い患者満足度を得ていくためのコツを述べたい。